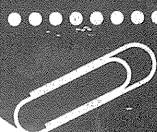




きょうと

京都



京つれづれ

京丹後市久美浜町の酒造会社「外国人杜氏」がいると聞き、取材に訪ねて記事にした。平成19年秋の仕込みから、江戸時代創業の「木下酒

造」で酒造りを任されている英国人のフィリップ・ハーパ―さん(42)だ。今月3日付の朝刊社会面に掲載された記事を読んでいた

だいた方から、「フィリップさんって一体どんな人」と聞かれることがあった。

このフィリップさん、なかなかユニークな人なのだ。英パーミンガム出身で名門オックスフォード大学文学部を卒業。ドイツ近代文学を専攻し、カフカやゲーテなどの作品を研究していたそうだ。

大阪の府立高校の英語教師として昭和63年に来日。当時の同僚と懇親会で居酒屋に行き、そこで初めて日本酒の味を覚えたという。

「最初は日本酒の味そのものより、徳利と猪口という道具に興味を持ったんです。大人の小さな器にちびちび酒を入れて飲む。そのスタイ

フィリップさんってどんな人？

ルが妙に面白くて、次第に日本酒の魅力にはまっていきました」

酒蔵巡りなどの趣味が高じて、奈良の酒造会社で酒造りの基礎を学び、杜氏の資格を得て、今では酒造りの陣頭指揮を執るまでになった。

フィリップさんは日本人女性と結婚しており、大阪府門真市に自宅があるが、酒の仕込み期間の10月から翌年4月末までは木下酒造で泊まり込みで働く。「まあ、季節労働者のような感じですかね」とジョーク交じりに話してくれた。日本語は流暢で、生年月日を聞いたときは「えーっと、昭和41年3月18日ですよ」。

ニュースのご連絡は 京都総局

〒600-8412
京都市下京区烏丸通り
仏光寺上ル
烏丸四条KSビル2階
075(351)9145
FAX 075(341)6610

けいはんな支局

〒610-0334
京田辺市田辺中央
1-5-5 橋本ビル5階
0774(79)0192
FAX 0774(68)1350

舞鶴支局

〒625-0036
舞鶴市浜741-1
西村ビル2階
0773(62)2160
FAX 0773(65)2021

通信部

京丹後 0772(64)5600

販売のご用は
075(351)1316

広告のご用は
075(351)0901

購読の申し込みは
0120(34)3733

なものがうかがえた。

酒造りに関して全責任を担っており、休日も含めて仕込み期間中の約半年間はほとんど酒蔵を離れることがない。息抜きは何だろうと聞いてみると、「一日の仕事を終えて夜中に一人でシェフ・ベックやケート・ブッシュ、フリート・ウッドマック、シェネシスなど好きなミュージシャンの音楽を聴いているときですかね」。いずれも英国のロックミュージシャンだ。このときはやはり英国人の笑顔になった。

フィリップさんの素顔が少しばかりわかっていただけだろうか。どうです、すてきな人でしょ。(西家尚彦)